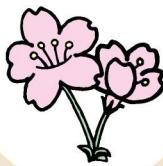


# 大津町の宝

## 桜



桜を楽しむ人々 — 3月25日

大津町はつつじの名所であるとともに、桜の名所としても多くの人達に愛されるようになつてきました。旧来の昭和園や日吉神社、大松山公園に加え、昨年から桜まつりを開催している本田技研南側道路（通称フラワー・ライン）や中核工業団地前清正公道などが「美事」である。また大津町には、環境の森や2000年の森に、熊本市や企業等の協力により水源涵養のために広葉樹を植林しているが、そのなかに多くの山桜の木も植えられている。

## 県内屈指の桜の名所 本田技研南側道路

### いろはにほへと 泣きつ面に蜂

20

江戸という市街に住んだ庶民は、たいがい樂天的だった。お天道さまと米の飯はついてまわってら——とか、宵越しのゼ——は持たねえ——などと大きなことをいつたものである。それで、これらの人々は陽気な毎日をあくつて、泣くことよりも笑うことが多かつたが、さりとて福もこず、いつまでたつても苦しい生活からぬけきれないのが常だつた。

そういう庶民へ、泣きごとをならべていると、もつとわるいことが起ころがもしれない。泣いたつて笑つたつて、どうにもならないのだから、せめては笑つていると、助言もかねて、なぐさめているようにもとれる。

編  
集  
後  
記

「大津歴史こぼれ話」「大津覚書」二つの歴史書が相次いで出版された。いざれも私達一般の町民が大津町の歴史を知る上では貴重な一冊といえる。

みんなでつくるう。元気大津人と自然にやさしい心かよいまち」これは大津町のキヤッチフレーズ。普通地方不交付団体を誇る元気な大津町だからこそ、大津の歴史を学び、先づる

議会広報編集  
特別委員会

委員長 俊彦  
副委員長 鈴木ムツヨ  
委員 坂本 典光  
月尾純一朗  
新開 則明

この議会だよりはリサイクル推進のため  
古紙100%の再生紙を利用していきます。

100